



①案出し

②企画投票・決定

③グループ分け
・企画具体化

④最終確認

⑤本番

⑥振返り・日常へ

- ◆日時：令和8年1月15日（木）
- ◆場所：荏原第5地域センター
- ◆参加者数：19名 + 品川区認知症地域支援推進員
- ◆主な内容：①導入講義「新しい認知症観」
②企画会議・オレンジフェスタの趣旨共有
③企画案出し(個人・ペアワーク、グループワーク)

①導入講義～「新しい認知症観」のポイント～

- ・認知症になっても**希望を持って自分らしく**暮らし続けられる
- ・**地域とのつながり**を大切にする
- ・**自己決定を尊重**する

②-1 企画会議の趣旨

認知症サポーターとして出来ることを**考え、実践する場**。

→9月認知症月間の企画をして行動し形にしてみる。

→認知症啓発イベント「しながわオレンジフェスタ2026」の開催（第4回目）に向けて企画を練る。

②-2 しながわオレンジフェスタの目的

◆「**外出する**」きっかけ ◆「**出会う**」きっかけ

◆「**繋がる**」きっかけ ◆「**再認識する**」きっかけ

→ルールの確認／認知症サポーターの活動を「**日常的**」に

①自主性を大切に！ ②予算はゼロベース ③繋がりを楽しもう！

★ポイント→企画作りを通じた出会いが「宝」

③企画案出し

- ・個人ワーク 「**アイデアの種を書き出そう**」
- ・ペアワーク 「**隣の人アイデアを聞いて書き出そう**」
「**新しい企画アイデアを生み出そう**」
- ・グループワーク 「**企画アイデアを作ろう**」 ※詳細は裏面へ

③企画案の詳細 (全8タイトル)

※重複のアイデアは割愛しています。

案	タイトル	概要	工夫や仕組み
1	チャレンジ あみもの物教室(事前)	①認知症カフェ・介護施設、学校、病院などに依頼し、体験や出前講座、動画を見ながら作る	一緒に作る→一緒に参加→各施設で実施
		②認知症の方に1回の講座として参加してもらい作ってもらう	制作風景撮影 →当日流す
2	チャレンジ あみもの物教室(当日)	①あみもの	紙芝居、展示物で知ってもらう
		②工作	認知症VR体験
		③子供が楽しめる	一緒に作って一緒に参加
3	誰でも作れる・演奏できる楽器作り	①楽器を手作りする(みんな)	「みんな」が参加することでお互いを知る
		②障害のある方や体の不自由な方でも使える楽器を作る	
		③みんなで演奏	
4	みんなで運動とリラックスとお互いを知ろう	①誰でもできる運動をみんなでやる(ボッチャ通常Ver.・車いすVer.)	「誰でも」が参加することでお互いのことを知る
		②運動後、足湯でリラックス	
		③「誰でも」をテーマに参加し両方の体験(認知症の方、障害の方、車いす体験、手話体験)	
5	ダンスと音楽とアートと健康	①青空ストレッチ (健康の為、楽しくやるため)	認知症、地域各所、自治会、マンション掲示
		②シルバーディスコ (DJはサポーター、芸能人、特別ゲスト、ダンサー、区内の学校)	商店街・区の広報だけではなく、区内認知症サポーター、SNSで会議
6	今日のシェフは、人生の先輩です！ ～認知症の方と再現する思い出レシピ～	①認知症の方に得意料理のレシピを聞く(再現レシピ)	認知症の方にも参加してもらう
		②たき火・BBQ・かまどで再現レシピを作る・売る	思い出を聞いてレシピ集に盛り込む
		③認知症の方々から教わったレシピを集めてレシピ集を作る。料理を食べ方にノベルティとして配布	イラストや絵を認知症の方に書いてもらって表紙などに使う
7	区内の新たな発見	①次世代へのバトン渡し(※多世代ウォーキング) ②専門職も地域資源を交えたイベント ③商店街ごとの〇〇(例：みどころ、食べ処マップ)	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>次回の予定</p> <p>令和8年3月19日(木)</p> <p>午後2～4時</p> <p>荏原第5地域センター</p> <p>投票で企画決定</p> </div>
8	けんこう紙芝居	—	